

市議団ニュース

連絡先 2021年 4月18日号
杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

接種の流れは・・・

1 接種券が届きます



2 コールセンターに予約します

はじめの接種後
2回目の予約する

3. ワクチンを接種します

接種の開始順位

予約までの注意・ポイント

◇第一回目の接種は1500人から
2000人分と見込まれています。
その後は、2週間ごとに入荷予定です。

◆予約できるのは、接種券（クーポン券）が届いた方のみです。
◆食物・医薬品アレルギーや持病などがある方は、事前にかかりつけ医にご相談ください。
（ワクチン接種は、感染予防の効果と発熱などの副反応リスクを理解して、自らの意志で決めてください）強制ではありません



第1回目の接種会場は
当面、久喜総合体育館
（アリーナ）だけです。

コロナワクチン接種の新情報です！

医療従事者 (5,886人)

5月中旬ごろ終了予定

高齢者（85才以上）（約7,000人）

5月10日から予約
16日から接種開始

高齢者（75才～84才）（17,300人）

入荷・予約状況で判断します

高齢者（65才～74才）（24,700人）

未定です

基礎疾患を有する方 未定

高齢者施設の従事者 未定

接種費は
無料です



◆予約はコールセンターで。
当面、ワクチン接種に関する一般的な相談を受け付けています。
0480-22-5670
※月～金 9時～17時まで

予約はコールセンターと
Web予約サイトだけです。
医療機関では受け付けていません。

コロナ対策(第3次分)などで追加事業つづく！
国民の声も一部届いた！（野党は組み換え予算を提出）

国の第3次補正（一部）が

- ◆コロナ感染拡大防止策として
 - ◇医療提供体制確保、医療機関への支援（一部）
 - ◇病床や宿泊施設への交付金
 - ◇小児科など医療の診療報酬引き上げで支援
- ◆検査体制の充実、ワクチン接種体制の整備
 - ◇PCR検査・抗原検査の実施に対する支援（一部）
 - ◇ワクチン接種、体制確保費用助成
- ◆広い知見に基づいた防止策徹底
 - ◇幅広く使える感染症対応地方創生臨時交付金
 - ◇中小企業などの経営転換支援金
- ◆地域・社会・雇用における民需主導の好循環へ
 - ◇中小企業に資金繰り支援、緊急小口資金

久喜市の予算は

- ◆コロナワクチン接種事業 8億7193万円
- ◆市立保育所等補助・コロナ対策 1665万円
- ◆トイレの洋式化などを実施します。（菖蒲総合支所、久喜総合文化会館、市内13か所の公園、栗橋B&G海洋センター、鷺宮体育センター）
- ◆コロナ感染拡大の影響を受けた、市内事業者にプレミアム付き商品券を発行します。
発行総額6億2500万円 販売総額5億円
- ◆障がい者施設、市立保育所、放課後児童クラブの手洗い水栓を自動化します。



久喜市 2021・令和3年度の 国民健康保険特別会計

歳入歳出予算総額 155 億 8400 万円

対前年度比 3 億 6000 万円の増に

2月議会報告
第3弾

国保制度には、国の支援が必要です！

令和3年度国保予算の 算出根拠数値

- ◇被保険者数 33,710 人
- ◇世帯数 21,740 世帯
- ◇1人あたり平均保険税 83,677 円
- ◇1世帯あたり平均保険税 129,750 円

令和3年度埼玉県国保事業費 納付金の「本算定」の結果 63市町村で増に！

- ◆1人当たりの保険税必要額は2020年104,407円であったのが2021年度は113,506円となります。
- ◇久喜市の保険税必要額は108,867円で、令和2年度との比較では9,647円9.72%の増となります。

国の負担を上げるべきです。

賦課限度額の引き上げ

◆久喜市では、運営主体（県）である国保連協が賦課限度額の県内統一を行う方針に従い、そのための措置として、ここ数年間で賦課限度額を77万円から99万円に改定しました。この流れの中、今年度は、273世帯が平均47,900円の負担増になります。しかし、コロナ禍の中での市民生活を守る立場から、9自治体が値上せず、統一せずに踏みとどまっています。久喜市も一般会計からの繰り入れを行い、市民の負担増にならないような対策を講ずるべきでした。財源はあります。

◆サラリーマンが加入する健康保険は約5割の事業負担がありますが、国保にはないため4人世帯の平均保険税は同じ年収のサラリーマンの約2倍になります。とりわけ、子どもたちにもかかる均等割りは全額免除するなどの対応が必要です。

◇議会では、負担増となる条例改正に、日本共産党久喜市議団はきっぱり反対をしました。



議員団、国に対し
2つの意見書を
提出しました！
残念ながら、他会派の反対
で否決されました。



不公平な消費税！値上げも許せない！

後期高齢者の医療費2割負担は止めて 「原則1割」の維持継続を求める意見書

【意見書の主旨】75歳以上の高齢者が負担する医療費の窓口負担を2倍にすることは、コロナ感染拡大が進む中受診控えが起きており、一層の受診抑制となる。年収200万円以上など所得制限を設けているが370万人、25.95%に影響する。若い世代の保険料上昇を減らすとするが、その仕組みを作ったのは今の政府であり、公費負担も1983年の45%から35%に減らしている。2割負担の導入は撤回し、高齢者の命と健康をまもるべき。

【採決結果】 賛成・共産党・市民の政治・無派8名

消費税率を5%に減税することを求める意見書

【意見書の主旨】コロナウイルス感染が世界中で猛威をふるい経済が大きく揺さぶられている中、消費税を減税する国が50カ国以上に増えています。

消費税の減税は、コロナ禍で苦境にあえぐ国民や事業者に大きな支援となり、コロナ恐慌を引き起こさない為にも必要です。コロナ感染が拡大する中でも資産を増やす大企業に応分の負担を求めることは、公正・公平な税制を確立する上でも必要です。

【採決結果】 賛成・共産党・市民の政治・他 計8名

お困りごととはなんでも
日本共産党久喜市議団へ

